

進路だより

福島県立あぶくま支援学校
進路指導部通信 第1号
2021年7月20日 発行

1学期を終えて

進路指導主事 若松伸司

新型コロナウイルス感染症の脅威が続いている状況の中で始まった令和3年度も1学期の終業式を迎えました。5月中旬からは高等部3学年の進路決定に向けての特別実習、6月中旬には高等部、6月下旬には中学部の校内実習が実施されました。感染予防対策を講じながら、生徒たちの社会生活・就労生活の知識・技能を習得できるよう例年通りの実習を実施できたことは進路決定に向け、大切な機会になったことと思います。

また、今年度は1学期に各学部の学年懇談などを利用し、「進路指導の手引き」を効果的に活用できるよう説明会を実施いたしました。進路の手引きは日頃からの学習や様々な経験を進路実現に向けられるよう、進路指導の内容や進路に関する用語の解説などを記載いたしました。ポイントの部分を中心にぜひご覧いただき、役立てていただければと思います。



「進路の手引き」の活用について説明会を行いました。

6月に発行された「進路の手引き」について第1回授業参観後、小中学部の保護者を対象に進路指導部より説明を行いました。

「進路の手引き」を効果的に活用するにあたり、各学部の進路指導のポイントや目的について、児童生徒や保護者の皆様とも一緒に共有できるようにしていきたいと考えています。



〈小学部の説明会の様子〉

進路指導のここがポイント！

『小学部』『今の学習が進路の学習』

- ・友達や教師と仲良く生活しようなど基本的な生活習慣を身につける。
- ・学校という家庭以外での活動の場で、社会で生活するための基本的な力を身につける。
- ・人々や社会、自然などいろいろなものに関心を持ち、自分の気持ちや意見を身につける。

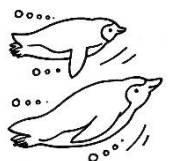
『中学部』『家庭生活・職業生活の基礎的な力の学習』

- ・身につけた基本的な生活習慣を生活の中で生かし自分の存在について意識できるようにする。
- ・職業生活の基本的な学習から必要な知識や技能に触れ、自分ができることについて考えることができる。
- ・“自分のやっていること”が“みんなのためになっている”という自分の役割を感じることができる。

『高等部』『具体的な家庭生活・職業生活の学習』

- ・卒業後の社会生活・職業生活について具体的内容を学習する。
- ・【産業現場等における実習】を通して、卒業後の生活について見通しを持つことができる。
- ・一人で行えることはしっかりと身につけ、できないことについては支援方法等を考える。
- ・各学年での進路学習、進路決定に向けての手続きを確認する。

※高等部においては福祉サービス事業所の内容を確認のうえ、『事業所一覧』を活用する。



<高等部前期産業現場等における実習および校内実習について>

今年度は、6月7日(月)～6月18日(金)の2週間、高等部2年生については前期産業現場等における実習、高等部1年生及び3年生については前期校内実習を実施いたしました。

校内実習では、新型コロナウイルス感染症の影響から密を避けるように教室を分散化したり、マスク着用や手指消毒を徹底したりするなど、安全面に留意しながらの実習となりました。各生徒が実習を通して自分の課題に向き合い、今後の目標をより具体的なものとする有意義な実習となりました。

産業現場等における実習では、新型コロナウイルス感染症の影響から普段以上に配慮が必要な状況ではありましたが、生徒の進路実現のため、多くの企業や福祉サービス事業所の方にご協力いただき、実施することができました。生徒たちは、実際の職場で緊張しながらも、学校生活で学んできたことを発揮する大変貴重な機会となりました。

前期産業現場等における実習



私は、「シニアホームこうよう」で現場実習を行いました。仕事内容は、施設内の清掃と昼食の配膳、下膳と盛り付けとゴミ箱折りをやりました。一番大変だった仕事は、盛り付けです。理由は、お年寄りの方々が食べやすいようにカットしないといけないからです。実習を行ってみて学んだことは、大きな声で挨拶をしてテキパキ動くことです。最初は、声が小さくて自分から挨拶ができなかったけど、自信がついた時は、大きな声で挨拶ができて良かったです。これからの学校生活では、メリハリをつけて時間をみて行動したいと思います。

高等部2年1組 赤坂 美優



前期校内実習



私は産業班に所属し、菓子箱の箱折り(仕切り折り、仕切り組み立て、穴あけなど)に取り組みました。実習中の目標は「相手に伝わる声で報告をする」、「ミスなく丁寧に作業をする」にしました。

実習では、主に仕切り折りの作業を頑張りました。普段の作業学習の授業ではミスが多かったのですが、実習期間中に作業を繰り返すことで、ミスが少なくなってきました。実習を通して、作業のミスが少なくなるように力加減に気を付けるとともに、自分で確認できることは自分から確認して進んで仕事をする事の大切さを学びました。これからの学校生活や後期の実習に生かしたいと思います。

高等部1年5組 柳沼 優斗



〈家庭班〉



〈窯業班〉



〈産業班〉



〈清掃班〉



〈木工班〉



〈農園芸班〉



〈工芸班〉



〈基礎作業班〉

